

- ・健やか親子 21 との関わり：「(2) 母性ならびに乳児および幼児の健康の確保および推進」の部分で「健やか親子 21 の趣旨を十分踏まえたものとする」となっている母子保健の領域そのものの内容である。これを健やか親子 21 の法制化と捉えると、健やか親子 21 をきちんと推進していかなければいけないということの裏づけとして、認識できると思う。

*** ここまでの質問 ***

深山 各市町村が行動計画を立てるということだが、やったものには、報奨等の評価がされるのか？

山縣 とても大切な部分だと思う。これは「絶対に行動計画を立てなければならなくなった」という、縛りができた、ということである。法制化以前は、例えば母子保健計画等、立てなくても怒られなかったが、今度はこれが義務になってしまった。市町村合併等の問題もあるが、どうあっても来年までに作りなさい、という縛りである。それに対して、報奨が出るかという、色々な補助金が出てくる。例えば、新生児訪問の予算が 20 億円あり、1000 市町村だけ手を挙げてもらって国が半分補助したり、1/4 は県から補助金を出すとといったようになる。事業をできるところには補助金を出して、できるようにする、という形が健やか親子 21 の時よりは出てくると考えられる。

5. グループワーク その 1 「アイスブレイキングー「子どもとの関わり」で感動したことー」

(全員 11:15-11:45 PPT44)

3つのグループにわかれて、グループワーク

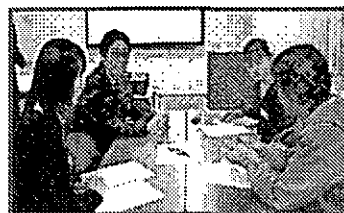
発表 (11:40-11:55)

1G (清宮)

私たちの仕事は直接障害を持った子どもに関わることが多いので、その関わりからの感動が多い。子どもをのり見ていた子どもに久しぶりにあって、その成長ぶりに感動したこと、5歳の障害を持った子どもが、自分の障害が重く「お母さんへの負担が大きいです、自分を殺してほしい」と母親に訴えたという話を聞いて、絶対に何とかしたいと思ったこと、子どもと遊んでいる時や抱っこをねだられた時に、暖かさを感じたこと等がでた。さらに、子どもとの関わりの中で、面白かったこととして、「お鍋を食べるって言うのに、フライパンを食べるって何で言わないの？」って聞かれて、

お母さんは「黙って早く食べなさい」

と言ってしまった話もでた。



2G (志水)

子どもが大きくなって病院にあいさつに来てくれたこと、脳性麻痺の子どもが長期入院していた時に、「ママに早く会いたいから、がんばって出てきたんだよ」と言っていたこと、脳性麻痺の子どもが、自分の足の変化に気づき、上手な使い方を自分で探るようになったこと、スタッフ同士で手技を検討したことで子どもの症状を

改善できた時のこと、長期入院児が退院した時に、保育園の先生や友達が暖かく迎えてくれたこと等がでた。



3G (渡部)

母親から「退院したい」という希望が出てくるまでは待っていて、傍にいたことをずっと伝え続けた関わりのこと、子どもが好きなので、ただ子どもと一緒にいるだけで感動すること、情報を伝えることで、障害を持った子どもが成長していくのを見ること等がでた。

山縣 大変滑り出しが良く最初のグループワークから、盛り上がったと思う。保健師さんに「保健師になって感動したこと」と聞くと、すごく困ってしまう。今日はすんなり出てきた。その違いは、人に対する仕事をきちんとしているところと、机上での仕事をしているところだと思う。今の保健師さんの仕事が机上での仕事がだんだん多くなってきてしまっていることの現われだと思う。皆さんの仕事は人との関わりが多くて、すんなり出てきたのだと思う。

6. レクチャー「健やか親子 21 公式ホームページの紹介」11:55-12:15 (山縣 PPT45-68)

- ・ 取り組みの目標値：図表をエクセルファイルでダウンロードして活用できる
- ・ 母子保健・医療情報データベース：約 3200 の全国的な調査研究の文献情報をまとめたもの
- ・ 取り組みのデータベース：約 3000 件の全国の健やか親子 21 の取り組みに関する情報をまとめたもの
→事業の企画立案・実施・評価に利用できるデータベース

＜理学療法士の関わる取り組み情報：現在データベースに登録されている中で、15 件あり。

7. グループワーク その2「子育て支援で理学療法士が関わることができる事業はどんなものがあるか」
(全員 13:30-13:55 PPT68)

発表

2G (志水)

結婚前の生活習慣（発達段階の延長）、変股症オペ後のケア（出産や子育てへの配慮）、妊娠中の身体愁訴へのアプローチ（妊婦体操、産前産後の腰痛教室、産後のケア）、健常児の発達健診への立会い、障害児発達指導（喘息教室、訪問指導、障害児の装具・靴・車椅子・杖等の調整）、家族への啓蒙、住宅改修、母子相談、就学相談、保育園・幼稚園への指導

3G (久富)

両親学級、乳幼児健診、発達健診、障害児の子育て支援、低体重児、小児糖尿病児への教育、障害児の通う保育園・学校の先生への支援、地域の話し合いの場、舗装具・住宅改装・一時貸し出し、訪問、家族への支援、啓発活動、留守番等に関わる祖父母・兄弟支援→代理保育

1G (湯浅)

乳児健診、言語相談、就学相談、母子相談、住宅環境（バリアフリー）、病院での通院訓練、通所訓練、訪問、講習会開催

山縣 例えば、喘息との関わりはどんなものなのか？

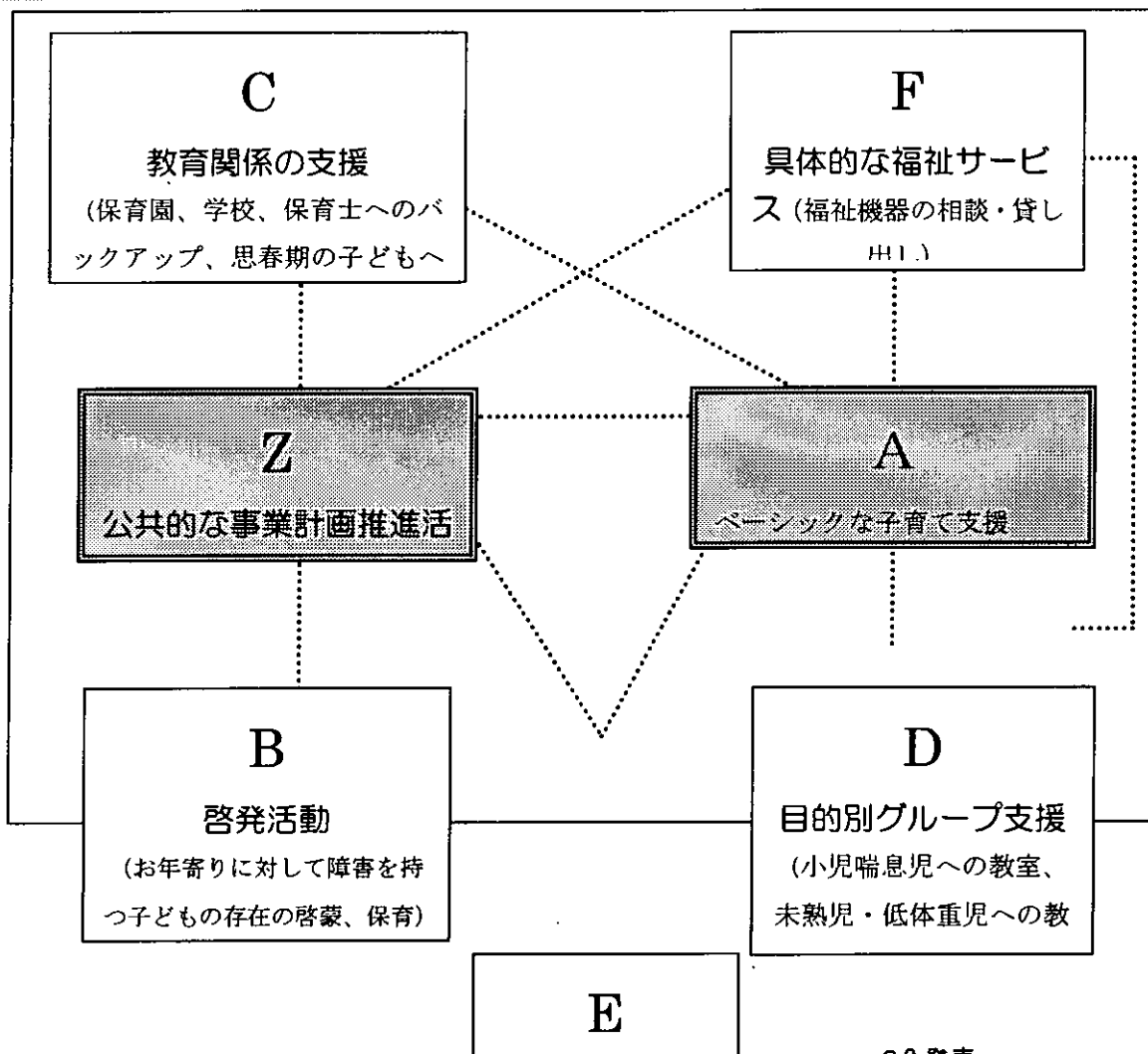
井上 公害保障係で行っていて、疾患児を集めて一週間くらいで、キャンプや音楽療法を行う中に理学療法士が関わっている。

8. グループワーク その3「事業のグループ分け」(全員 13:55-14:20 PPT69)

山縣 今、事業を出したが、他の地域で、どんな事業をしているのか、というのを知ることができるのがデータベースである。資料として現在登録されているものを出してある。グループワークで出したものもあわせて、グループ分けをしてもらいたい。まず、どういうグループ分けをするかを出し合って、進めていってほしい。

発表

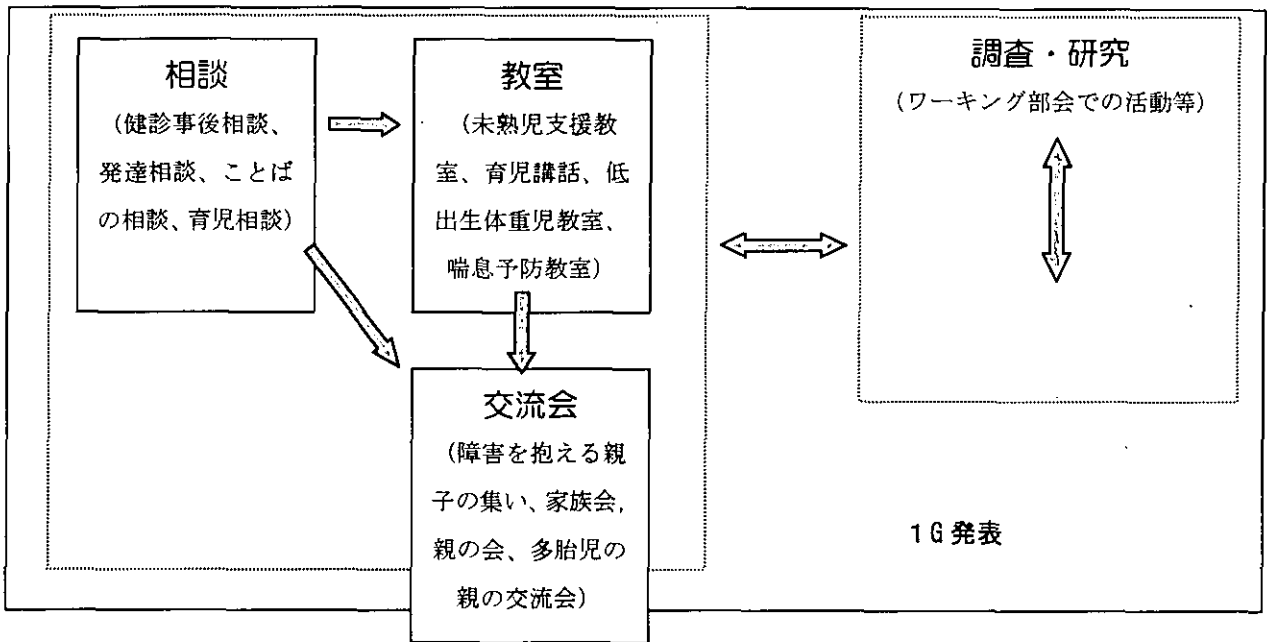
3G(濱崎) 大きな柱が2つ(AとZ)あって、それに様々なもの関わっているという風に整理した。



3G発表

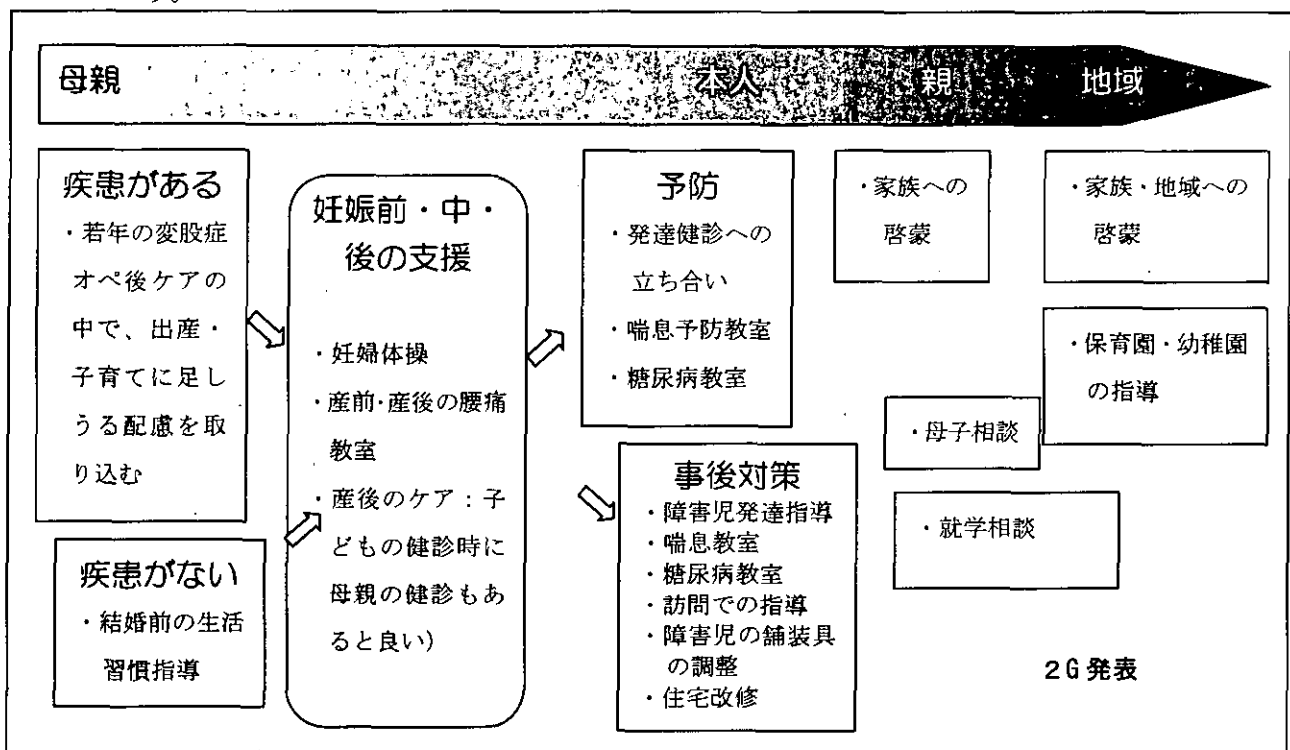
山縣 つまり、Zが「ねばならない事業（法律で決められている事業）」、Aが「こういうことをするともっといいという事業（法律外の事業）」と理解できると思う。

1G（桜井） 相談・教室・交流会と、調査研究・啓蒙活動という大きなくくりで整理した。



2G（井上） 予防・事後対策と子ども・親・地域に対するものという軸で考えた。母親に対するケアは、疾患や障害の有無に関わらず、関わりが持てると思う。実際にはまだ、あまり行われていないと思うが、妊娠を機会にアプローチすることが、とても大切なものだと思う。

山縣 事例になかったものも含めて、それぞれのグループの特色を生かして、大変興味深くまとめられていたと思う。3Gは、骨格が実際にある社会の中での動きを中心にグループ分けされていた。子育て支援と、事業計画が中心となって、分野別のグループ分けになっていた。1Gは、行政的な視点だと思う。比較的すっと入れる分類だったと思う。2Gは、問題や課題を中心としたまとめ方だったと思う。こんなわけ方が出てくるだろうな、というのが、それぞれ出てきていたと思う。



1G (湯浅) 緊急度：命に関わること→今障害を持っていてハイリスクの子どもへの対応

重要度：これからの予防を考えたもの→妊産婦の方を対象とした教室等

2G (井上) 緊急度：命に関わること→その原因は子どもの病気の場合も、家族の環境の場合もあるので、それぞれ対応していく。

重要度：命に関わることは同時に重要。もう一つ、住民のニーズが高いものも重要。

3G (深山) 緊急度：命に関わること

重要度：啓発活動、環境づくり→対象が広く、時間がかかるが、必要となってくるもの。

山縣 どれだけ多くの人に寄与するか(寄与危険度)、という公衆衛生の考え方を紹介する。

こう考えていくと、緊急度とは、数は少なくとも生死に関わるもの、重要度は、すぐには命には関わらないかもしれないが、たくさんの方が対象となるもの(悩んでいるお母さん)と考えることができる。これらを考え合わせてバランスの良いところの事業を展開すると、うまくいくかもしれない。今回出された事業をこういった視点で、考えて行ってもらいたいと思う。

10. グループワーク その5「企画案の作成」(全員 14:25-14:35 PPT76)

山縣 一つ事業をあげて、その企画案を作ってみる。

まず、何を目的にどんな事業をするか、ということを考えてもらいたい。目的、ねらい、効果、キャッチフレーズ等を考えて欲しい。

発表

2G (早瀬川)

「出生前から、ライフサイクルを通じていつでも、子育てについてPTに関われるシステム作り」

乳幼児期は、健診でPTに相談があるときに相談につながるようにする。3歳以降は健診がないが、希望にあわせてPTと関わることができるようにする。就学後は、体力テストや、肥満等の問題が発見された時に、学校の先生とタイアップして、相談に結びつくような窓口を行政に用意する。就学年齢で学校に行っていない引きこもり等のケースに他の機関が対応している場合にも、身体的問題が疑われた時には、PTがさっと関わられるようにするシステムを作る。

山縣 まだ一般に、理学療法士にかかること、こういう相談を受けられ、こういう対処をしてくれる、ということが知られていないように思う。だから、こんな相談を受けられるということ、マニュアル等を作ってアピールしていくことが大切だと思う。ぜひ実現させていただきたい内容。

3G (渡部)

「乳児健診、発達健診の時に、PTとして関わる」

医師の都合で、健診中に昼寝の時間がある場合がある。また、日常、日ごろの子どもたちの生活が見えない。これに対し、子どもの生活リズムにあった時間や場所で、PTによる巡回健診をしたらどうか、という企画。問題はお金。

山縣 今はPTが家庭に行くことは多くないのだろう。PTとしてのフォローにとって、家庭環境を知ることが大切。何より、サービスを受ける側に立った視点がとても良いと思う。お金の問題はあってもないが、現行の健診業務等に、加えることで十分可能な内容と思うので、ぜひ実現を。

1G (桜井)

「わくわくプレイランド」

背景：最初の子どもの健常児ではないと、母親が1人で、障害児への対応に悩みがちである。実際におとなしいので、好きなビデオを一日つけっぱなしにしていたケースもあった。この事業で、わが子を大切に思う気持ちや、わが子と接することが楽しくなれば良いと思う。

目的「障害を持った子どもをもつ母親に遊びを通して子どもとのふれあい方を指導する」

内容：遊び方(スキンシップ、だっこの仕方)、身近なものを使ったおもちゃの作り方、遊び方。

効果：子どもの喜びがわかることによって、母親自身も楽しく子育てできる。また、子どもの状態を理解する。

山縣 非常に良くまとまっていて、予算等のことを付け加えれば立派な企画書になる。現在は健常の子に対する事業はいっぱいあるが、障害のある子に対するものは難しい。「効果」の概念はすばらしい。これはかなり次世代育成の中の、要保護児童の項目でどんどん扱われていくべき内容。健やか親子21でも当然あてはまる。どこかでぜひ実現させてもらいたい。

また、今日準備したが、紹介しきれなかった内容については、資料を後程渡せるようにする。

(PPT77-82)

11. 感想発表及び修了証授与 (全員 14:35-14:40)

1G

桜井 パソコンのことは良くわからないのだが、内容はわかった。市町村で色々取り組んでいることが解った。一つの事業をどうやって展開していくのか、というのが何となくわかって勉強になった。

清宮 たのしく研修できた。

湯浅 職場は高齢者なので、テーマが難しいと思ったがわかりやすかった。大変参考になった。

2G

瀬川 どれだけ関わりがあるか、と思ったが、身近なものだと感じる事ができた。楽しかった。

井上 普段、母子関係は関わる機会が少ないが、今日は良く学べた。

志水 友人からの相談をきっかけに受講した。普段は成人を扱っているが、機会があったら、行政にも働きかけたい。

3G

渡部 普段は高齢者が対象だが、母親として考えさせられた。また日常業務でも、たまに関わりがあるので、興味深く学べた。

濱崎 データベースとは固い話かと思ったが、そうではなかった。会社としてのビジネスチャンスのヒントを得た。

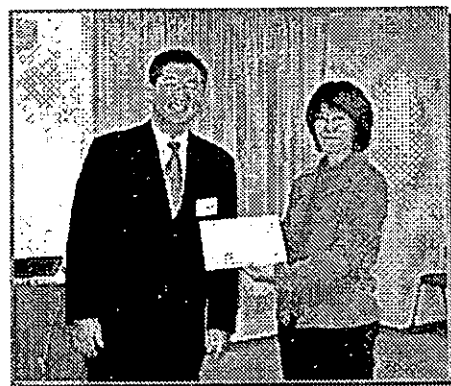
深山 緊急度、重要度から決めていくという事は、国の官僚も同じようにやっているのか？今日はありがとうございました。

久富 一研修生として参加した。一つ一つ事業化していくことが順を追ってわかった。楽しく研修させていただいた。

山縣

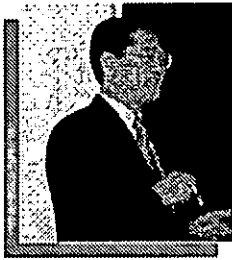
最後に、地域と関わる中で、皆さんがいるんだ、ということをごだれだけの人が感じているか、ということとはとても大きなことだと思ふ。日々過ごす中で、何かあった時に、頼ってくる、ということとはとても大事。そういったところから、生活の満足度等が出てくる。住民のために、こんなことをしたらいいというようなことは、こういった会でわかると思ふ。

住民とも積極的にこういった会を持って、いい地域を作っていくために今後もがんばっていただきたい。意見交換の場として、母子保健関係者のメーリングリストもあるので、参加していただきたいと思ふ。



母子保健福祉担当者研修会
「市町村母子保健計画に活かす健やか親子21 & 次世代育成支援」
2004年2月16日(月) in 栃木県
主催：栃木県県南健康福祉センター

1. 県南健康福祉センター木塚課長様ご挨拶 (9:30~)
2. 山縣挨拶 班員紹介
3. 「健やか親子21」と「次世代育成支援対策推進法」についてプレゼン (山縣) (9:40~)



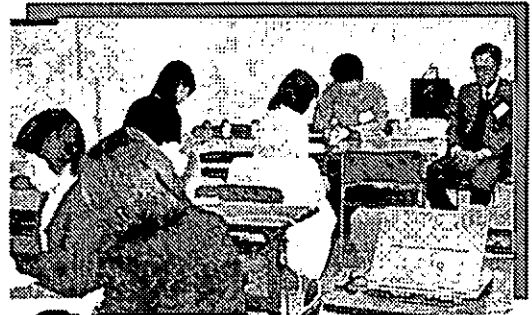
1. 学習目標

一般目標

母子保健事業の評価をして再構築ができる。

行動目標

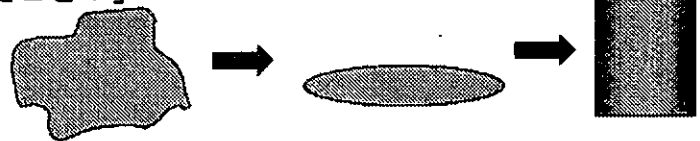
1. 母子保健事業の評価の必要性が説明できる。
2. 評価項目が列挙できる。
3. 総合評価ができる。
4. 再構築に必要な事項が列挙できる。
5. 事業の優先順位がつけられる。
6. 事業の再構築ができる。



4. ディスカッション (11:10~)

Ice Breaking 「保健師になって感動したこと！」

氷を溶かす→また、固める(違った形)



課題：

1. 保健師になってよかったと思ったことや保健活動をしてきて感動したことを1-2個挙げましょう。

時間は15分

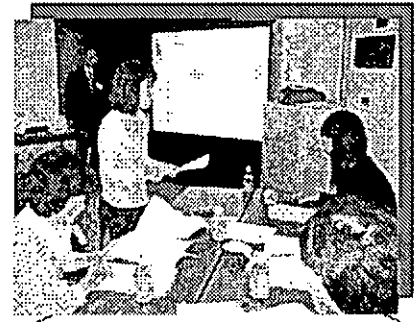
発表は1グループ1分



1G 発表



自分自身を認識することに役立った。



保健師の知識があったので比較的子育てがうまくいった。

地区活動ができて、大変だったが充実感があった。

生きていくうえで、いろいろなことを参考にできた。

不登校の子が行けるようになり親から感謝された時。

子どもの成長が親より先に見られることで成長に携われたという実感。

感動したこと

2G 発表

いろいろな人と接することができる。

就職したばかりでも町の母親達が受け入れてくれた。

子育てマップの作成・アンケート調査の結果から、町民からの保健師への評価が高かった。

家庭訪問に行きやすい。フットワークが軽い。行政職では何か事がないと動けない。

個人の名前をあげて母親たちから評価された。

良かったこと

なぜ、事業評価をする必要があるか？（11：50～12：25）

- ★実施報告（上司への報告）
- ★目的の達成は？
- ★継続の必要性は？
- ★改善の余地は？
- ★住民への説明
- ★新たな事業の基礎資料

1G 発表



- ・ その事業が目的を達することができたかどうか確認するため。
- ・ 実施方法や計画内容がニーズに合っているか検討する。
- ・ 受容と供給が整合しているかどうかの検討・確認・修正

- ・ 質の向上
- ・ 実施したことをやりっぱなしにせず、改善して新たに実施するため。
- ・ 事業を繰り返す上で、より良いものにするため。
- ・ マンネリ化しないために。
- ・ 事業をやった側のやり方を見直すため。
- ・ 事故満足で終わらないために。

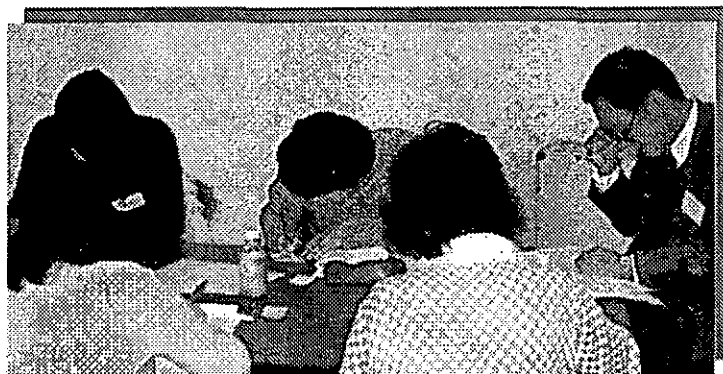
- ・ 新しいニーズ・課題の抽出と検索。
- ・ 住民にとって良いサービスであるために。

- ・ 他人に理解してもらうために。

- ・ 公費（税金）で行なっているから。

2G 発表

- ・ 目的や目標が達成できたかどうかをみるため。



- ・ 予算の獲得。
- ・ 次年度の予算獲得のため。
- ・ 事業を効率的（少ない人・少ないお金等）で、行うため。

- ・ 次に事業を行なう時の指標、見直すために必要。
- ・ 次の計画に今回の反省点を生かすため。
- ・ 目標とした指標の達成状況を確認して予定通りに進んでいる場合、その理由を校正する必要があるため。
- ・ 合理的な事業の見直しを行なうため。
- ・ 事業の問題点を考えながら事業展開をしていくため。

今やっている母子保健事業を列挙してみましょう。
 その中で少子化対策とそうでないものに分類してみましょう。

1G

少子化対策

- ・乳幼児医療費助成

母子保健事業

- ・母子手帳の交付
- ・予防接種（各種）
- ・母親学級（両親）
- ・ベビーサークル
- ・妊産婦健康診査
- ・発達相談 ネットワーク
- ・小、中学生に対する性教育
- ・不妊相談
- ・乳幼児健診と事後指導
- ・サマースクール
- ・妊婦教室
- ・育児教室
- ・乳幼児2次検診
- ・思春期ピアカウンセリング ネットワーク
- ・親子教室（発達相談対象児）
- ・思春期の性教育（中学校 小学校 養護学校）



2G

少子化対策

- ・不妊 遺伝相談

母子保健事業

- ・妊婦検診 医療機関委託前期1回後期1回
- ・母親学級（L1～L3）×5回
- ・妊婦訪問
- ・総合養育支援対策事業 家庭訪問 グループ支援 台帳整理
- ・家庭訪問 電話相談 面接
- ・予防接種（ポリオ ツ反 BCG）
- ・乳児訪問
- ・乳幼児健全育成事業 発達相談 親子教室 発達支援ネットワーク事業
- ・子育て応援マップ 作成 配布
- ・子育てサロン「なかよしクラブ」
- ・乳幼児健診 ・親子教室（育児教室）

- ★ 今やっている母子保健事業を列挙してみましょう。
- ★ その中で、少子化対策とそうでないものに分類してみましょう。
- ★ 少子化対策はなぜしなければならないのか？
- ★ 少子化対策事業のポイントは？

少子化対策について、現在国で進めている対策は0を1にするのか？1を2にするのか？

- ・ 0を選択していることと、1であることとに根本的な違いがある。
- ・ 0を選択している場合は関わるのが難しい。よって1から2にすることが大きい。
- ・ 事業として行なうのは難しい。
- ・ 予算的にも難しい。
- ・ 0や1の選択もある背景に環境や深い因子が隠されているようにも思う。

山縣：少子化対策を分けずに、全て母子保健事業に含めて考えた方が良い。

0から1にする対策は国が作るものではないと思っている。

生みたいと思っている人が生める環境をつくるのが大切なのである。

生めない人にプレッシャーを与えないことが大切。

次世代育成の行動計画は、母子保健事業が入っているため、今が良いチャンスなのである。

★ねらい別

前提要因

住民が健康行動の前提となる知識、技術を身につけ、動機を高める。

実現要因

住民が健康を実現するために行動できる機会や環境を提供する。

強化要因

住民が健康のために積極的な行動を強化・継続できるように支援する。

優先順位を決める二次元展開法

- ・ 緊急度とは？
- ⇒生命の危機
- ⇒指示
- ・ 重要度とは？
- ⇒対象が多い

緊急度

根拠はなにか (法律 住民のニーズ)
 グループに分けられるか(まとめられるか)
 優先順位は
 重要度
 緊急度
 解決可能性

重要度

取り組みのデータベース研修会（14：40～）

「取り組みのDB」概要の説明（葉袋）

「検索の実践」（山田）

1. 目的をたてる
2. 検索方法をメモ
3. 役立つデータ（なぜ役立つと思ったか）

○ 上川町 「虐待」「子育て支援」で240件「虐待防止ネットワーク」17件
具体的に内容がつかめたことが今後の参考となる。

○ 藤岡町 「思春期」700件
自分の町と比較する点良かった。人口や出生数において。

【検索のポイント】

- ① タイトル・キーワード
- ② 目的が明確か
- ③ 目標値の設定
- ④ 住民参加の有無
- ⑤ 他機関との連携
- ⑥ トレンド
- ⑦ 地域特性



【事例の検討】

事例1：簡単すぎて分かりにくい

事例2：ぱっとみた段階でとらえるのは難しい

事例3：ポイントを絞っていて分かり易い

☆数値目標があると良い。



【事業内容登録の実践】

HPの説明（山縣 16：05～）

感想（16：15～）

- ・ HPの活用がわかってよかった。
- ・ 常に情報しか見ないが活用法が分かった。
- ・ IEが個人で見れるようになった。
- ・ HP初めて知って勉強になった。
- ・ 次世代と母子保健と健やかをどう活用していいのか戸惑うことがあり参加した。この研修会を生かしたい。
- ・ 欠席した市町村には伝えていきたい。
- ・ 常にHP活用している。
- ・ 次世代、健やかとも分かり易かった。



大変有意義な研修会を行うことができました。
皆様のご活躍をお祈りいたします。

山梨大学医学部保健学Ⅱ講座 山縣然太郎

健やか親子21



取組みのデータベースマニユアル

「健やか親子21」公式ホームページ

<http://rhino.yamanashi-med.ac.jp/sukoyaka/>

さらに使いやすいものにしていくため、意見交換用のメーリングリストを作成しました。
ぜひご参加ください！ → sky21@res.yamanashi-med.ac.jp

申し込みは、FAX: 055-273-7882、E-mail: boshidat@res.yamanashi-med.ac.jp まで、
ご連絡ください。

- 目次 -

0	健やか親子 21 取り組みのデータベースとは	1
1	「健やか親子 21」公式ホームページから、データベースのページを開きます	2-3
2	どのような取り組みがあるか検索したいとき	4-15
2-1	簡易検索をするとき	4-8
2-2	最初から詳細検索をするとき	9-10
2-3	検索結果の一覧表示を、変更したい場合	11
	・概要一覧で表示させた場合	12
	・詳細一覧で表示させた場合	13
2-5	情報を出力したいとき	14-15
	・テキスト形式で出力した例	16
	・CSV 形式で出力した例	17
3-1	新たに登録したり、情報を修正したりしたいとき	18-19
3-2	新しい団体を登録したいとき	20-24
3-3	新しい事業を追加したり、情報の修正をしたりしたいとき	25-26
3-4	追加・修正メニュー	27
3-5	新しい事業を追加するとき	28-30
3-6	事業情報を修正・削除したいとき	31

★ 健やか親子 21 取り組みのデータベースとは

健やか親子 21(母子保健の 2010 年までの国民運動計画)に関連して、都道府県、保健所、区市町村および関係団体が実施する母子保健サービスなどの取り組みのデータベースです。

関係機関における健やか親子 21 の進捗状況を把握するとともに、これを利用することによって、市町村等関連機関の連携を深め、健やか親子 21 推進に役立てることを目的としています。

本データベースの構築および管理は平成 15 年度厚生科学研究費補助金「地域における新しいヘルスケア・コンサルティンングシステムの構築に関する研究」(主任研究者 山縣然太郎 山梨大学医学部保健学Ⅱ講座教授)が行っています。

★ 本データベースの特徴

- (1) Web上で検索できるデータベースである。
都道府県・市町村・団体名・市町村規模・取り組み課題別・キーワード等で検索できる。
- (2) 関係機関が Web 上で端末から情報入力でき、変更等も同様に可能である。
- (3) キーワード(簡易)検索・詳細検索・詳細表示の切りかえ・印刷・出力などが可能である。

★ 提供された情報は管理者が確認後、2～3 日以内に公開します。

1. 「健やか親子21」公式ホームページを開きます

戻る 進む 更新 中止 検索 入力 履歴 メール サイズ
 アドレス http://himo.yamanashi-med.ac.jp/sukoyaka/

「健やか親子21」公式ホームページ

— 母子保健の2010年までの国民運動計画 —

[〇〇マイページ](#) [〇〇](#) [〇〇](#)

※「健やか親子21」について	※イベントと研修会情報
※取り組みのデータベース	※母子保健・医療情報データベース
※取り組みの目標値	※地方計画
※推進団体会	※e-サポーター
※学校保健	※リンク

[このサイトマップ](#)
[このサイトについて](#)

[〇〇トビックス](#) [〇〇](#) [〇〇](#)

「取り組みのデータベース」をクリックしてください。

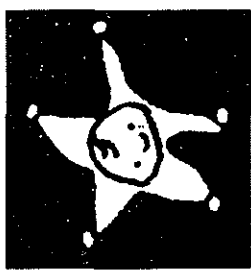
- ① 「子育てネットワークin又エック」のお知らせを掲載しました
- ② e-サポーター「e-ラーニング」子どもの事故予防を公開しました
- ③ 学校保健のコーナーを開設しました
- ④ 「このサイトについて」のお知らせを掲載しました
- ⑤ 自治体版「健やか親子21」関連母子保健計画の掲載をお任せください

白濁きのトビックスはこちら

このホームページは皆様と共に作っていくページです。
 ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業) 研究班

Copyright 2001 by Zentaro Yamagata All rights reserved



健やか親子21

作成: 2001年5月18日
 更新: 2004年3月25日
 00204167

健やか親子21 取り組みのデータベース

地域や団体の取り組み（事業）を検索・登録できるデータベースです。

キーワードを入力して下さい

① 重要なお知らせ(必ずお読みください) ④



子どもの事故予防の
取り組みをしている
地域は？

登録・修正
取り組み(事業)の登録はこちらから

○使用の手引き

○データベースのご案内

○**メーリングリスト(ML)のご案内**

○母子保健・医療情報データベース

皆さまと意見や情報交換を
するメーリングリストについ
てのお知らせです。ぜひご
覧下さい。



私達の地域の
取り組みを
紹介したい！



スタッフが少ないけれど、
どんな取り組みができるの？

みんなで作ってみんなで活用しましょう！

健やか親子21(母子保健の2010年までの国民運動計画)に開通して、都道府県、保健所、区市町村、医療機関および関係団体が実施する母子保健サーベイスなどの取り組みのデータベースです。関係機関 における健やか親子21の連携状況を把握するとともに、これを利用して

2. どのような取り組みがあるか検索したいとき

2-1 簡易検索をするとき

①調べたい情報のキーワードを入力します。
* 複数のキーワードで検索したいときは、スペース(全角の空白)で区切って、言葉を追加してください。

②キーワード(簡易)検索のボタンをクリックしてください。

キーワードを入力して下さい
重要なお知らせ(必ずお読みください)

健やか親子21 取り組みのデータベース
地域や団体の取り組み(研修)で検索・登録できるデータベースで

キーワード(簡易)検索
詳細検索

育児不安 教室

例:「育児不安」と「教室」という言葉で検索してみます。

子どもの事故予防の取り組みをしている地域は?

私達の地域の取り組みを紹介したい!

スタッフが少なくても、どんな取り組みができるの?

みんなで作ってみよう!

健やか親子21(母子保健の2010年までの国民運動計画)に関連して、都道府県、保健所、区市町村、医療機関および関係団体が実施する母子保健サービスなどの取り組みのデータベースです。関係機関における健やか親子21の進捗状況を把握することも、これを利用す

使用の手引き
データベースについて
メーリングリスト(ML)のご案内
母子保健・医療情報データベース

インターネット 10:38

「育児不安」と「教室」という言葉では、531件の情報が該当しました。

■検索結果一覧(見出し一覧表示)

見出し一覧表示 10件 事業名 再表示 1 / 54 Page
 531件ヒットしました
 先頭のページ 前のページ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次のページ
 最後のページ

No.	事業名	団体名
1	1歳6ヶ月児健診・2歳児健診・3歳児健診	宮城県 田原町 保健福祉課
2	1歳6ヶ月児健診事後教室(はかよ広場)	蒲城市 健康推進課
3	1歳児教室	蒲城市 健康推進課
4	2歳児すくすく教室	遠子市 福祉部 市民健康課
5	2歳児教室	蒲城市 健康推進課
6	2歳児教室	福島県 大村町 役場 健康福祉課
7	2歳児健診	新居町 保健福祉課
8	2歳児歯科保健教室	飯岡町 役場 住民福祉課 ふれあいセンター けんふ堂
9	3か月児健診事後フォロー教室(にこに広場)	豊田市 子ども課
10	4歳児・5歳児歯科教室	植野町 役場

この「条件を変更して再検索」のボタンを押すと、画面下方にジャンプします。

さらに絞り込みたいときは、画面下方で条件を変更し、再検索をすることができます。

条件を変更して再検索 検索条件を入力後、「検索」ボタンをクリックして下さい。